

## 南カリフォルニア地震センターの Mark 氏が当センターを訪問しました(2011/11/14)

11月14日(月), 南カリフォルニア地震センター(Southern California Earthquake Center)の教育・アウトリーチ部門長のマーク・ベンセン(Mark Benthien)氏が当センターを訪問しました。Mark氏は, 米国の“ShakeOut(シェークアウト)”の事務局長でもあります。この“ShakeOut”は「新しい防災訓練」のことで, 2008年に米国で行われた地震防災訓練で, 米国西海岸・カリフォルニア州南部広域圏で540万人を巻き込んだ一斉の防災訓練です。その後2009年には, カリフォルニア州全域に範囲が拡大し, 690万人が参加, 2010年には860万人が参加したと言われています。我が国の「防災の日」である9月1日とその前後では, 近年, その参加人数は200万人と言われていますので, “ShakeOut”は大規模な一斉防災訓練と言えます。現在, 我が国でも大規模日本版“ShakeOut”の来年3月に東京での開催に向けて動き始めており, 18日(金)に開催される「日本版 Shake Out 実施に向けた公開講演会」に先立ち, 東日本大震災の被災地視察のために, 午前中は岩沼市~石巻市まで現場視察, 午後からは当センターを訪問しました。訪問では, 佐藤翔助教より東北大学での防災・減災研究の体系について, アナワット研究員より我が国の津波の歴史と今回の被害の特徴について説明を行いました。

